

4月イベント情報

図書館スタンプラリー

子ども読書週間(4月23日(木)～5月12日(火))にちなんで、スタンプラリーを行います。当日の貸出レシートをカウンターに持ってきた方と、おはなし会などのイベントに参加した方にスタンプを押します。スタンプを30個ためると、景品をお渡しします。

期 間 4月1日(水)～5月31日(日)

だっこのおはなし会 図書館スタッフ

0歳からの乳幼児向けおはなし会を行います。プレパパ、プレママもご参加ください。

日 時 ①4月2日(木) ②4月16日(木) ③4月23日(木)
いずれも午前10時30分～

場 所 ①②3階図書館おはなし広場
③古北にじいろ会館 2階図書・学習室

対象者 乳幼児
その他 4月16日(木)のだっこのおはなし会の前後(各1時間)で7カ月から3歳児を対象に無料託児サービス(抽選。当選者にのみ電話連絡)を行います。申し込みは4月1日(水)～7日(火)に電話または直接図書館へ。

子ども向けアニメ上映会

「忍たま乱太郎の宇宙大冒険withコズミックフロント☆NEXT」

忍たまの乱太郎・きり丸・しんべんの仲良し3人組はある日、ひよんなことから宇宙の大海原に飛び出す大冒険に出発します。

日 時 4月5日(日) 午後2時～

場 所 3階図書館イベントホール

対象者 幼児・小学生とその保護者

定 員 40人(当日先着順)

みんなでブックトーク「めぐり逢いの物語」

人生で何度でも繰り返される、出会い、別れ、再会をテーマに本を読んで語り合しましょう。

日 時 4月12日(日) 午後2時～

場 所 4階図書館グループ学習室

運 営 江南ブッククラブ

対象者 18歳以上

定 員 10人(当日先着順)

江南あおむしの会「絵本を楽しむ会」

「私のおすすめの絵本」を特集します。

日 時 4月18日(土) 午前10時～

場 所 4階図書館グループ学習室

運 営 江南あおむしの会

対象者 18歳以上

定 員 10人(当日先着順)

耳で楽しむ読書体験！ストーリーテリング

絵本や紙芝居などを使わないおはなし会を行います。

日 時 4月18日(土) 午後3時～

場 所 3階図書館イベントホール

語り手 ストーリーテリングの会 江南おはなしのろうそく

対象者 5歳以上(大人も参加可)

手づくりのおはなし会 図書館スタッフ

絵本の読み聞かせと簡単な折り紙工作を行います。

日 時 4月19日(日) 午後3時～

場 所 3階図書館おはなし広場

対象者 幼児、小学校低学年

楽筆教室「親子でこいのぼりを描こう」

クレヨンと墨汁、朱墨を使って、親子でこいのぼりを描きましょう。へたを魅力に変える「楽筆アート」を体験してみませんか。

日 時 4月26日(日) 午後1時30分～

場 所 4階図書館グループ学習室

講 師 黒田晴美(楽筆講師)

対象者 小学生とその保護者(1組2人まで)

定 員 5組10人(抽選。当選者のみはがきを発送します)

料 金 1組500円(当日集金)

持ち物・服装 エプロン、墨で汚れてもよい服装

申 込 4月5日(日)～18日(土)に電話または直接図書館へ。

おはなし会with工作教室 図書館スタッフ

おはなし会と紙コップを使ってコトコト動く動物を作ります。

日 時 4月26日(日) 午後3時～

場 所 古北にじいろ会館 2階第1会議室

対象者 幼児、小学校低学年

定 員 5人(当日先着順)

ゴールデンウィークだ！ワイワイおたのしみ会

パネルシアター、大型絵本、紙芝居、簡単工作、じゃんけん大会などを行います。

日 時 4月29日(水・祝) 午前10時30分～

場 所 3階図書館おはなし広場

演 者 ゆかいなおはなし仲間「みなみこぞう」

対象者 幼児、小学生(大人も参加可)

大人のための絵本のおはなし会

大人のための絵本の読み聞かせを行います。

日 時 4月29日(水・祝) 午後2時～

場 所 3階図書館イベントホール

朗読者 おはなしグループ「ほっこりん」

5月イベント情報

マジシャンHiromichiのマジックショー

みんなが楽しめるマジックショーと、マジックの手ほどきを行います。

日 時 5月6日(水・休) 午後2時～

場 所 3階図書館イベントホール

出演者 マジシャンHiromichi

定 員 50人(申込先着順)

申 込 4月15日(水)～26日(日)に電話または直接図書館へ。



曼陀羅寺の藤棚(江南市)

藤まつり展

藤について

4月イベント情報

昨年に引き続き、今年も藤まつり展を開催します。今回は羽島市も参加して、津島市、江南市の3市合同で藤まつりについてのパネルを、それぞれの図書館で展示します。

江南市立図書館展示期間:2026年3月27日(金)～5月13日(水)まで。

藤まつり展

第61回こうなん藤まつり
開催期間:2026年4月17日(金)～5月3日(日・祝)まで
※藤棚のライトアップ期間
同日程18:30～21:00
場所:愛知県江南市 曼陀羅寺公園



藤花(ふじか)ちゃん

江南市

2026年 尾張津島藤まつり
開催期間:2026年4月15日(水)～4月29日(水・祝)まで
※藤棚のライトアップ期間
同日程18:30～21:00
場所:愛知県津島市 天王川公園

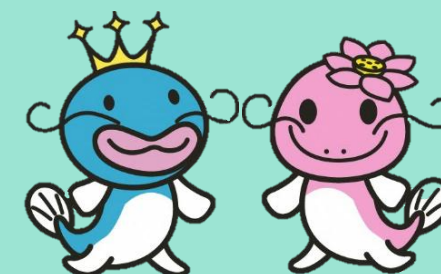
津島市

2026年美濃竹鼻心じまつり
開催期間:2026年4月17日(金)～4月29日(水・祝)まで
※藤棚のライトアップ期間
同日程18:30～21:00
場所:岐阜県羽島市 竹鼻別院



ふじか

羽島市



たけちゃん & はなちゃん

図書館からのお知らせ

- 館内整理のため、毎月第2・第4木曜日がお休みになります。4月は9日(木)・23日(木)です。※学習室はご利用いただけます。休館日のご利用時間は9:30～17:30です。
- 本は大切に扱ってくださいようお願いいたします。破れた時はカウンターにお申し出ください。図書館で修理いたします。※多くの方にご利用頂くために書き込み・切り取りはしないようお願いいたします。
- DVD等視聴覚資料の取扱いは慎重にお願いいたします。弁償となった場合は著作権分が市販価格に上乗せとなり、高額となる場合がございます。
- 申込の際にいただいた個人情報については図書館運営に必要な範囲で利用させていただきます。

2026年

4月

江南市立図書館

布袋発の図書館情報誌

発行

江南市立図書館

〒483-8157 江南市北山町西 300 番地 toko*toko*labo3・4 階
TEL:(0587)56-2306 URL:https://lib-konan.aichi.jp/



藤について

身近な植物

藤はマメ科フジ属で、ツルが上から見て右巻きのノダフジと、左巻きのヤマフジが日本に自生しています。本州、四国、九州の温帯から暖帯の低い山地や平地に広く分布しています。古くから日本人に身近な植物で、文化に溶け込み愛されてきました。



◀ 曼陀羅寺の白藤 (江南市)



▲ 藤の種(スタッフ提供)



『散歩が楽しくなる 日本の色手帳』
日本色彩学会/監修
東京書籍(757.3 ㍶)



実と種

藤の実(豆)は夏の終わりごろから枝の先から垂れ下がるようになります。さや(莢)は固く、中に丸い種が入っており、実が完熟するとさやがはじけて、種が飛び出します。

香り

昔から愛されてきた香りです。ノダフジ系とヤマフジ系の香気成分が異なっていることが分析され、現在では香りの再現にも成功しています。

色

藤の花の色をそのまま名前に冠した藤色は、奈良時代より「なつかしき色(好ましい色)」とされ、また高貴な色ともされてきました。藤色の派生色は多く、紫を基とし落ち着いた色彩で日本人になじみが深い色です。

藤色

ふじいろ

淡藤

あわふじ

青藤

あおふじ

紺藤

こんふじ

紅藤

べにふじ

京藤

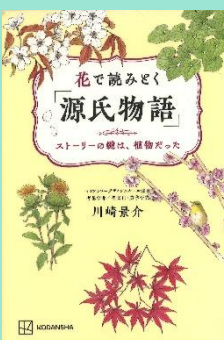
きょうふじ

花札

日本のかるたの一種で、古くからある花札(別名花かるた)にも藤の花が描かれています。4月の絵柄で「藤にほととぎす」藤の花とほととぎす、月の絵柄は、春を指すと共に、夏の訪れが近いことを表す絵柄でもあります。



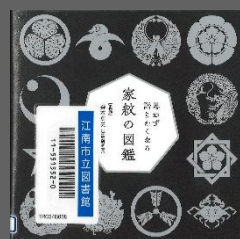
『藤と日本人』
有岡利幸/著
八坂書房(627.79)



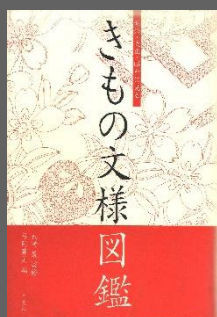
『花で読みとく 源氏物語』
川崎景介/著
講談社(913.3 ㍿)



『花札』
江橋崇/著
法政大学出版局
(797.1 ㍿)



『思わず語りたくなる 家紋の図鑑』
森本勇矢/監修
三オブックス(288.6 ㍿)



『きもの文様図鑑』
長崎巖/監修
弓岡勝美/編
平凡社(753)

表現としての藤

まず古いものでは『古事記』の中つ巻に藤が登場します。そして『源氏物語』や、『枕草子』の作中にも書かれ、また、多くの和歌や俳句にも詠まれました。連なった花房が風に揺れる様子を、波の揺らぎに見立てて「藤波(ふじなみ)」とする優美な表現もあります。

月に遠くおぼゆる藤の色香かな (子謝 藍村)

藤の花はしなひ長く色濃く咲きたる、いとめでたし (枕草子/木の花はより一部抜粋 清少納言)

藤波の花は盛りになりけり 奈良の都を思ほすや君 (万葉集卷三・三三〇 大伴四郎)

藤紋

◀ 藤棚文様

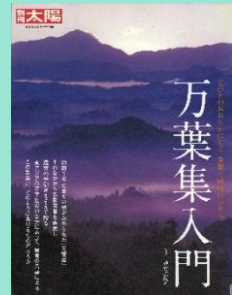
平安後期の藤原氏全盛の時代に、藤を文様にするのが盛んになり、有職文様のひとつとして完成していきました。

藤を使用した家紋も豊富で、二つの花房が両側から垂れ下がった「下り藤の丸」が多く、他にも「上り藤の丸」「八つ藤」「藤巴」などがあります。戦国武将では「左藤巴」の黒田官兵衛、「下り藤」の後藤又兵衛などがいます。

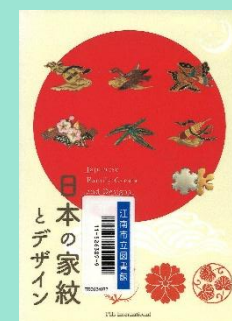


着物

藤は着物にも多く使用され、題材とした有職文様には「藤立涌(ふじたてわく)」「藤の丸」「花籠藤」などがあります。また、刺繍で藤を刺した帯や、友禅で藤の花を描いた着物は現代でも、季節に添わせて身を彩ります。



『万葉集入門』
神野志隆光/監修
平凡社(911.12)



『日本の家紋とデザイン』
濱田信義/編著
パイインターナショナル
(288.6 ㍿)



『きものの文様』
藤井健三/監修
世界文化社(753)

紹介資料を使って本文を作成しました。

他参考資料:
『花と樹木と日本人』
有岡利幸/著
八坂書房(653.2 ㍿)
『逆引き季語辞典』
日外アソシエーツ株式会社/編集
日外アソシエーツ
(R911.30 ㍿)